

平成30年度
KEMS 外部環境監査
報告書

柏市外部環境監査委員会

平成31年3月1日

平成30年度 KEMS外部環境監査タイムスケジュール

日付	時間	内容	場所
2月22日 (金)	9:00	集合	本庁舎 4階 402会議室
	9:10~9:50	聴取監査① (環境政策課)	
	10:00~10:40	聴取監査② (交通施設課)	
	10:50~11:30	聴取監査③ (環境サービス課)	
	11:30~12:35	昼食	
	12:35~13:00	移動	
	13:00~13:40	現地監査① (学校保健課)	沼南支所
	13:40~14:05	移動	
	14:05~14:45	現地監査② (手賀近隣センター)	手賀近隣センター
	15:45~15:10	移動	
15:10~16:00	現地監査③ (手賀東小学校)	手賀東小学校	

主席 青木 誠 (EA21 審査人, ISO14001 審査員補)
 村田静枝 (柏市環境審議会委員, 柏市ストップ温暖化サポーター)
 山縣雅之 (EA21 取得事業所: 環境管理責任者, 柏市環境保全協議会: 理事)

平成30年度 KEMS外部環境監査 報告書

項 目	内 容
監査日	平成31年2月22日（金）
監査の目的	KEMSの環境方針と取組の整合性，有効性，システム改善の必要性などの確認
意見及び提言	<p>今回のKEMS外部環境監査は，聴取監査3部署（環境政策課，交通施設課，環境サービス課）及び現地監査3ヶ所（学校保健課，手賀近隣センター，手賀東小学校）において，環境方針と取組の整合性，システム規定事項の実施状況及び有効性，環境負荷低減への取組状況，前回外部環境監査指摘事項への取組状況，システム改善の必要性などについて確認を行うとともに，各部署の事業や業務と環境改善のかかわりや，法的要求事項遵守状況，行政機関として市民への環境マインド，環境配慮行動についての働きかけの聴取を行いました。</p> <p>1. 環境政策課（環境管理事務局）</p> <p>前回監査の提言13項目については，全6部署において真摯に受け止めていただき，8項目について対応を完了し，3項目は検討中であり，2項目は今後の推移をみて検討予定であることを確認しました。</p> <p>KEMSに規定された事項（事務事業登録・報告，温室効果ガス排出量報告，法的要求事項遵守，研修，監査，システム見直しなど）は監査の範囲内では適切に実施されています。この結果，「柏市環境基本計画（第三期）」「第二期柏市地球温暖化対策計画」「柏市エコアクションプラン」「柏市公共施設等低炭素化指針」などに基づく環境配慮事業が環境方針に沿って進められ，市施設及び市域の環境負荷低減，環境保全に寄与しており，KEMSの有効性を確認しました。</p> <p>KEMS本編は第11版において，環境方針の基本方針で環境教育を環境学習へ変更，第2章では地球温暖化対策推進本部構成員の追加，第4章では柏市エコアクションプランに「再生可能エネルギーの導入」「環境に配慮した電力契約」の追加，第5章では法的要求事項の遵守の管理対象に「小型家電リサイクル法」の追加が行われていて，システムが継続的に見直し及び維持されていることを確認しました。</p> <p>KEMS事務事業管理は各部署の管理業務の軽減を意図して，事務局が行政改革推進事務事業から「柏市環境基本計画(第三期)」「第二期柏市地球温暖化対策計画」などにかかわる事業を抽出して「KEMS事務事業一覧表」を作成し，各部署がこれに追加変更を行うシステムを運用しています。KEMS事務事業の登録件数は，平成28年度は131件（各部署からの独自目標の追加登録は5件）であり，平成29年度は登録124件（追加は環境政策課の2件），平成30年度は登録120件（追加は保育運営課，学校施設課の2件）で，登録件数及び部署の追加登録ともに減</p>

少傾向にあります。次の段階では部署独自の取組を引出し、更に活動を活性化するための工夫が望まれます。

平成29年度の運用実績はKEMS事務事業登録124件中、目標達成が100件（達成率81%）であり、平成28年度の同73%より向上しており成果をあげていますが、更なる向上を期待します。なお、目標未達項目については、規定されているとおりに「KEMS事務事業目標未達事由報告書」により未達事由、改善策などが報告されていますが、一部に未達事由と改善策が整合していないものが見られました。

市施設全体の温室効果ガス排出量については、柏市エコアクションプランにおいて平成24年度を基準に、平成25年度から32年度の施設分類毎の削減目標値が明確化されています。平成29年度目標9.4%削減（平成24年度比）及び平成32年度目標15%以上削減（同）に対し、平成29年度実績は、16.4%削減（対前年比1.1%削減）となり全体としては良好に推移しています。個別にみると平成29年度は15施設分類中、目標達成が6施設分類、未達成が9施設分類であり、前年同様に過半数の施設が未達成であり、大幅過達、大幅未達の2極化傾向も見られ、今後の改善を期待します。

評価できる事項は以下のとおりです。

ア システム改善・維持・運用

247部署という広範囲に亘る大規模なシステムを、多業務を行いつつ少人数で回している事務局の方々の努力と熱意に敬意を表します。

イ 環境学習

多部署において種々のよい取組が実施されています。

- ・小学校4・5・6年生を対象に「みんなで考えよう地球温暖化～クールチョイス！柏」をテーマとして環境絵日記の募集が行われ、26校より648名の応募を受けています。
- ・小中学校全学年を対象に「手賀沼の水環境保全ポスターコンクール」が行われ、23校より241名の応募を受けています。
- ・希望小中学校にゴーヤの苗が配布され、緑のカーテン設置の取組が行われています。
- ・柏市リサイクルプラザリボン館、かしわ環境ステーションなどにおいて体験学習、リサイクル品展示、環境施設見学、市民・団体等の環境の学習・研究・活動交流など、多様な取組が行われています。

イ 市民啓発

- ・平成29年度は柏レイソルと協働でクールチョイスを推進しています。柏レイソルの選手が出演する啓発VTR放映や、公共交通機関へポスターを掲示するなど柏市ならではの 방법으로、市民などへの環境マインド、環境行動の働きかけが積極的に行われています。
- ・大人から子どもまで楽しみながら学ぶことができる体験型イベントと

して「かしわ環境フェスタ2018」が開催され、「かしわエコカンパニー大賞表彰式」「一番古い冷蔵庫コンテスト」など、事業者、家庭も取込む環境啓発イベントが行われています。

ウ 職場表彰

「柏市公共施設等低炭素化指針」の重点事業である太陽光発電設備、省エネ設備、壁面緑化、断熱窓などの学校施設への設置事業が評価され、表彰されていて良好です。

提言事項は以下のとおりです。

ア 法的要求事項の周知と管理

遵守管理を確実にを行うために「法的要求事項登録表」について次の事項の記載と周知をお願いします。

- ・PCB特別措置法に処分期限（東京エリア平成34年3月31日）を追加してください。
- ・小型家電リサイクル法が該当しますので記載を追加してください。
- ・水銀使用製品産業廃棄物（廃蛍光灯など）を追加してください。

また、排出事業者責任の観点から「柏市」としてとりまとめの部署が必要かと思われますので検討をお願いします。

イ KEMS 事務事業目標の明確化

例：H29 年度事務事業一覧 No33 公害苦情処理

「苦情受付件数」を減らすことが目的なのか「苦情処理件数」を上げることが目的なのかを明確にするよう検討をお願いします。

ウ 「KEMS 事務事業目標未達事由報告書」の未達事由、改善策の整合

- ・一部に未達事由と改善策が整合していないものが見られました。

例：H29 年度事務事業一覧 No44 水質汚濁防止法立入検査

エ 前回指摘事項への対応結果

- ・監査事前説明会の資料として「KEMS 外部監査結果への対応策」を提示していただきましたが、完了、着手、未着手などが不明で、監査時に再提示していただき明確になりました。監査の効率化のために次回は、当初資料に明示していただきますようお願いします。

事務局の方々には、他部署監査時も含め終始真摯に対応していただきましたことに感謝いたします。

2. 交通施設課

主な業務は、市営駐輪場・市営駐車場の管理運営、放置自転車対策、レンタサイクルの管理運営、交通安全の啓発を 10 人（臨時 3 人）で行う部署です。

放置自転車は、柏市道部分で前年 2,700 台撤去し 35% が所有者に返却、残りを自転車業者に売却されたとのこと。以前よりも放置自転車台数は減少傾向にあり、この放置自転車の再利用方法として、レンタサ

イクルに活用されています。

評価できる事項は以下のとおりです。

ア 課内での環境活動として昼休み間の消灯、ノー残業デイの実施、裏紙の使用、マイ箸・カップ・ボトルの使用、ウォームビズクールビズを実践されています。

提言事項は以下のとおりです。

ア 市営駐車場、駐輪場、自転車保管所には環境配慮として照明の LED 化や太陽光バッテリー利用の照明器具などの設置を検討してみてください。

3. 環境サービス課

平成 29 年度 KEMS 事務事業に登録している事業について伺い、適切に実施されていることを確認しました。

- ・ゴミゼロ運動：ふるさと協議会、町会、企業、学校等 178 件に呼び掛けを行い、市内のポイ捨てごみ等の拾い集めを目標 1 回に対し 1 回（5 月）実施しました。参加者は近年横ばい傾向とのことです。
- ・不法投棄対策：パトロール・回収の目標 244 日に対し 244 日実施しました。平成 29 年度の不法投棄は 197 件で、近年は減少傾向であり、警察等との協力により半数は犯人が特定されるとのことです。
- ・ポイ捨て防止：路上喫煙防止パトロール・ポイ捨てゴミ清掃の目標 244 日に対し 244 日実施し、啓発看板を設置しました。ポイ捨ては駅周辺では減少したが、全体としては横ばい傾向とのことです。
- ・生活環境整備：空き地の雑草対策を主に地主に文書を送り、苦情発生防止に努めています。苦情は以前より減少したが、近年は横ばい傾向であり、同じ地主による再発が 60%～70%とのことです。

法的要求事項の遵守状況について伺い、適切に実施されていることを確認しました。

- ・廃棄物処理施設の運転管理：指定管理者からの月次報告書、年間報告書などにより管理状況を確認しています。
- ・特別管理産業廃棄物の保管管理：山高野浄化センターの PCB 処分が完了しています。
- ・山高野浄化センターにおける廃蛍光管の取扱：水銀使用製品産業廃棄物として産業廃棄物置場で破損を防止し保管しています。

評価できる事項は以下のとおりです。

ア 日常におけるエレベーター不使用、マイ箸・マイカップ持参などの環境行動が啓発され、定着しています。

イ 山高野浄化センターでは緑のカーテンを設置して、省エネ・環境啓発

に努めています。

提言事項は以下のとおりです。

ア 山高野浄化センターの排出水の水質等については、月次報告書、年間報告書に加えてトレンドデータ（年間及び3年間程度の推移）についても管轄部署も把握されることを推奨します。

イ No64 ぼい捨て等防止事業

警察 OB による見回り、カイロ及びテッシュの配布、看板の設置を実施されていますが、もう少し市民や事業所にも周知していただき、看板の設置を呼び掛けてください。

4. 学校保健課

学校給食の放射能測定は、食材及び提供食まるごと検査を行い、結果についてはホームページで公表し、適正に行われていることを確認しました。

地産地消について伺いました。食材は栄養士が決め、米や野菜は柏市産を重点的に使っています。栄養士の研修会は年6回実施し、食材は柏市産、千葉県産を使うように伝えています。

給食の残渣については、0%に近いところもあり、多くても10%を超える程度であり、平均すると5%未満です。それぞれの先生が残さず食べるよう、工夫した指導をされている話を伺いました。

評価できる事項は以下のとおりです。

ア 地産地消の取組について

各学校の栄養士が食材を決めており、11月には千葉県産の食材を40%以上使用しています。

また、柏市産米を100%使用し、柏市産のカブ・ネギ・ほうれん草・チンゲン菜・小松菜も積極的に使用しています。

5. 手賀近隣センター

平成29年に開所している新しい施設であり、照明の全LED化、トイレの人感センサー照明、大きい窓による自然光の取入れがなされています。

太陽光発電（10.08kW）蓄電池（5kW）の設置もされており、発電量や蓄電量をモニターにて映し出し来館者にも周知しています。

節電や節水を呼び掛ける貼り紙も随所に貼られていて、利用者にも周知しています。

評価できる事項は以下のとおりです。

ア 壁面緑化やアイドリングストップの看板も設置し、環境に対しての意

	<p>識は高く持たれています。</p> <p>提言事項は以下のとおりです。</p> <p>ア 敷地内の緑地手入れに苦労しているということなので、ボランティア活動をしていただける方々を募集してみてもいかがでしょうか。</p> <p>6. 手賀東小学校</p> <p>市内で一番古い学校であり、敷地内には山ゆりが自生し、豊富な植物や生き物たちをはじめ、自然環境豊かな学校です。全校児童による、いちご狩り体験、田植え、稲刈りなど、地域で支えてくれた方々に感謝する収穫祭が行われ、地域で子どもを育てる環境が整っていると感じました。そして、タブレット端末の活用など、新しい教育にも力を入れています。</p> <p>廊下の貼り紙に、「あいさつ、さきにいう、とおくからもいう、うしろからもいう」とあり、非常に感動しました。</p> <p>柏第一小学校の児童たちとそれぞれの特徴を生かした交流があります。</p> <p>全校児童51名と少人数の学校ならではの細かな部分まで教育がされています。11月には、手賀沼エコウォークに参加し、地域の清掃活動も行われています。</p> <p>理科実験用の劇物の保管・管理・廃棄物管理はきちんとされています。</p> <p>評価できる事項は以下のとおりです。</p> <p>ア 他所では見られない節電シールの貼り方に工夫があり、評価します。</p> <p>イ 校長・教頭先生ともに、環境への意識が高く、環境への想いを教職員や児童に伝えたいという想いを強く感じました。</p>
<p>主席外部環境監査員</p>	<p>青木 誠</p>
<p>外部環境監査員</p>	<p>村田 静枝</p>
<p>外部環境監査員</p>	<p>山縣 雅之</p>